

安川シーメンス
オートメーション・ドライブ株式会社

製紙、フィルム、クレーン、繊維、印刷など、各種の産業界に最新の産業用電気品を提供。高品質の製品群を基に、卓越したエンジニアリング技術とサービスで、様々な産業のオートメーション化に貢献しています。

本社：東京都品川区大崎1-11-1
ゲートシティ大崎ウエストタワー
設立：1999年10月1日
従業員数：約280名（2016年4月現在）
URL：http://www.ysad.co.jp/

（取材日：2016年6月）

POINT

ERPのデータをWebのレポートで検索／抽出。いつでも、誰でも、どこからでも必要な情報にアクセス

日英の多言語対応、多彩な表現力、GUIとソースコードのハイブリッドな選択肢で短期間での開発を実現

200名の情報活用を安定稼働で支えるパフォーマンス。現場のアクションにつながるレポート基盤を構築

「技術力」を発信し、未来をスマートに
Be Smart with YSAD Solutions!

予実管理に必要なレポートをERPから
WebFOCUS EVOで出力。
会社として見るべき指標を共有できる
全社情報活用基盤を構築！

安川シーメンス オートメーション・ドライブは、産業機械の稼働に必要な電気品とエンジニアリングを提供しています。従来はCRMで実装していた営業の予実管理機能を全面的にリプレースし、入力・編集機能はERPに、レポート機能はWebFOCUS EVOに移しました。次に打つべき手を考えるための情報を素早く引き出すことで、全社の業務効率向上や付加価値の創出に貢献しています。

課題

- CRMのパフォーマンスが低下し動作が不安定に。ダウンする前にリプレースを完了させる必要があった
- 今後を見据えて、全社の汎用的なレポートツールとして位置付けることが可能なシステム基盤が求められた
- 多数のレポート改修要件に、迅速、かつ低コストで対応したい

対策

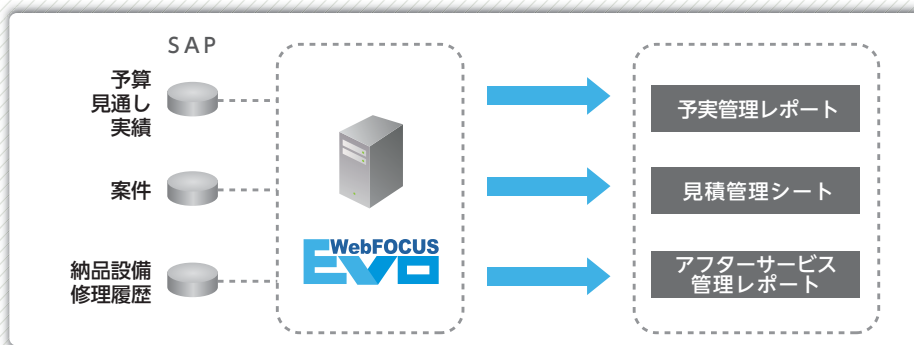
- リプレース期間短縮のため、入力関連機能は既存仕様のままSAP ERPに、レポート機能はWebFOCUS EVOに実装
- 多言語、モバイル対応、相手先を選ばない接続インターフェース等、将来的に必要となりそうな機能はWebFOCUS EVOでカバー
- Excelテンプレート機能をはじめとする製品の標準機能をフル活用し、特殊要件に対してのみ、独自にソースコード実装

効果

- SAP ERPとの親和性が高いWebFOCUS EVOで、200名がフル活用できる安定稼働を予定期間内で実現
- 将来に向けた汎用的なレポート基盤を先行して整備
- レポートの構築工数を大幅に削減。改修要件に迅速に対応できる仕組みが整った

システム概要

業種：産業用電気機械設備及びシステムの設計／製造／販売／保全など
データソース：SAP
利用業務：営業部門の受注計画
営業管理部門のバックエンド業務
技術部門の見積もり作成
カスタマーサービス部門の設備／修理履歴照会
協力パートナー：



WebFOCUS EVO

日独ものづくり大国の老舗企業が、 産業機械のドライブ製品をフルラインで提供

安川シーメンス オートメーション・ドライブ様は、産業機械の稼働に欠かせないモーターやドライブ製品とそのエンジニアリングを提供されています。設立の経緯をお聞かせください。

設立100年を迎えた安川電機とまもなく設立170年を迎えるシーメンスとの共同出資によって1999年に創立されました。ものづくり大国である日本とドイツという2つの国をルーツに、主に産業機械に使われるモーターやドライブ、コントローラーなどの電気品や、これまでに培った高度なシステムエンジニアリング・ノウハウ、そしてサービスを提供しています。

2社の製品の取り扱いによって、ラインナップはどのように変化したのでしょうか？

安川電機は汎用性の高いドライブ製品やシステム用製品を得意とし、シーメンスは高付加価値ソリューションを提供する製品や石油プラントを稼働する大容量製品にその実力を発揮します。2社の製品を掛け合わせることで、お客様に提案できる幅が格段に広がりました。これまでにない大規模なシステムを受注できるようになっています。

提案の具体的なシーンを教えてください。

例えばお客様から「今度新しく工場を建てて、紙やプラスチック製品を生産する機械を作りたい」と営業にご相談いただいた時には、その機械に関わる電源設備等ユーティリティをも含んだトータルな電気品のご提案が可能です。機械の稼働には、モーターに始まり、モーターを回転させるドライブ、複数台のドライブを制御するコントローラーなど多くの装置が必要になりますが、ラインナップからただ製品を選んでお届けするのではなく、エンジニアリングの技術力を活かして製品を組み合わせ、最適な装置の設計／販売／アフターサービスを提供しています。

CRMを短期間でリプレース 予実管理の仕組みを刷新

今回、営業部門で使われる予実管理の仕組みをリプレースされました。どのような仕組みですか？

営業部門では、年次の予算策定後、毎月その達成状況を確認し、今後必要となるアクションを検討しています。予算達成状況は、その月度までの実績と見通しから計算され、実績についてはSAP ERPの受注・売上データ、見通しについては、営業員がインプットする計画値を元に集計され、その結果をレポート出力しています。

リプレースに至った課題は何だったのでしょうか？

過去のCRMシステムでは、独自開発した処理が多数あったため、パフォーマンスが極端に悪く、システムの動作も不安定でした。また、システム構成上、このまま使い続ければ、2015年12月にはシステムがパンクしてしまうことが予想されました。その時期は、営業部門の次年度予算策定の時期にあたるため、それまでには何としてもリプレースを完了させなければなりませんでした。

どのような手順でリプレースを進められましたか？

短期間でシステムを安全安心に稼働できる状態に移行することを最優先とし、現行機能の仕様は変えずに、入力系の機能はSAP ERPに移行することにしました。また、出力系の機能については、今回のリプレースのみならず、汎用的に活用できる新たなレポートツールを導入することを検討しました。

WebFOCUS EVOを採用 Web環境、表現力、SAPとの連携がポイントに

レポートに求められた要件を教えてください。

もともとは数字の羅列したレポートを使っていましたが、将来的には経営 Cockpit のような表現力や、マネジメント層が外出先から見たいというニーズも予想されました。そのニーズに応えるには、まずはWebベースであり、モバイル対応のオプションもあること、そしてグラフィカルな表現と数字の並んだマトリックスが両方も可能で、かつデータを選択して抽出もできる仕組みを要件として探し求めた結果、WebFOCUS EVOに行き着きました。

Web、表現力、検索と抽出の機能を重視されたのですね。他にも選定ポイントはありましたか？

日英の言語対応も必須条件でした。展示会で1日かけて回っても、日本語と英語の両方に対応している製品は、片手で数えられる程しかありませんでした。WebFOCUS EVOは日英の言語を切り分ける機能が標準装備されていますから、多言語対応に特段の工数をかけることなくレポートを完成できました。また、SAP ERPをはじめ、その他の既存システムとも連携可能な接続インターフェースを多数持っていることは、大きなポイントでした。

SAP ERPとWebFOCUSをうまく連携するポイントはありましたか？

WebFOCUS EVOは、SAP ERP側の汎用モジュールを利用できるので、SAP ERPの開発ノウハウをそのまま活用し、容易にデータの受け渡しの設定ができました。また、WebFOCUS EVOでも複雑なデータの計算や加工は可能なのですが、今回のリプレースでは、SAP ERP側でできることはそちらに集約しました。これまでの運用により、SAP ERPではきちんとプログラミングすれば安定したパフォーマンスが出ることや、問題発生時の詳細解析方法が分かっていたからです。その結果、高品質、高パフォーマンスかつ安定したレポートが実装できました。

もちろん、SAP側で複雑な汎用モジュールを開発すると、必要となる工数が膨らむ場合もあります。そのため、今後もレポートの要件に応じ、WebFOCUS EVO側とSAP側との最適な住み分けを検証していきたいと考えています。

GUIでもソースコードからもレポートを作る ハイブリッドな開発生産性を評価

レポートを作る場面ではいかがでしたか？

WebFOCUS EVOは、標準の部品を使ってミニマムにも開発できますし、ソースコードを使っていくだけでも作り込むこともできます。アシストの体験セミナーで実際に開発プラットフォームを操作した時に、どちらの道も選べることがわかったので、これなら採用しても外すことはないと確信しました（笑）。

実際に開発してみてもいかがでしたか？

他の製品では、ソースコードに相当する部分は公開されていなかったり、ログの出力が不十分だったりして、問題を解析しにくいと感じたケースもありました。WebFOCUS EVOはソースを見ることができ、トレース機能も充実しているのも、何かあった時の安心感も大きいですね。

レポート開発も短期間で完了し、無事にリプレースを迎えられたのでしょうか？

実は、旧バージョンのSAP R/3のサポート切れやサーバ老朽化のため、2016年1月にカットオーバーすべく、SAP ERPへのバージョンアップが決まっていました。つまり、旧CRMがパンクする寸前の2015年12月にWebFOCUS EVOをカットオーバーしたら、その1ヵ月後には新バージョンのSAP ERPと連携した状態で稼働させなければならなかったのです。

それはタイトなスケジュールでしたね！

スケジュール的には、かなりストレッチでした。ところが実際に稼働してみると、WebFOCUS EVOは旧SAP R/3とも新SAP ERPとも問題なく連携できましたので、2015年12月から2016年1月の予算策定業務を滞りなく進めることができました。SAP ERP側はバージョンアップと同時にUnicode化の対応も行いましたが、両システムとも、そのための調整にそれほど工数を要しませんでした。接続先が大きく変わってもWebFOCUS EVOに特に変化はなく安定して動いている、我々の選択は間違っていなかったと稼働後に改めて評価しました。

200名のデータ活用を推進 現場にマッチした機能で情報活用を定着させる

現在、現場ではどのように活用されていますか？

200名が全社で使っています。営業部門では予実管理に、営業管理部門ではその支援業務全般に利用しています。技術部門では主に見積情報を、カスタマーサービス部門ではお客様の設備や修理の履歴をWebFOCUS EVOで照会しています。

現場でよく使われている機能はありますか？

Excelテンプレートを重宝して使っています。ブラウザ上の検索結果をExcelのテンプレートにあわせて出力できて計算式も組み込めるので、Excelの活用度が高いユーザ部門で便利に使われています。Excelとの親和性の高さは、現場での利用促進につながっていますね。

また、レポートの検索条件を保存できる機能も、全ユーザに使われています。作成したレポートを他のユーザにも提供できますから、拠点間での共有や会議資料としても役立てられています。

現場への定着が進んでいますね。

以前はシステムが立ち上がるまでに数分、クリックしてから検索結果が返ってくるまでにさらに数分待つような状況でしたから、ユーザは情報活用したくてもできない環境でした。

WebFOCUS EVOへのリプレース後は、パフォーマンスや操作方法についての問い合わせはほとんどありません。現在は200名が安定して継続的に使っている、この情報活用は会社としてかねてから目指していた状況でした。

次ページへ続く →



(取材協力)
安川シーメンス オートメーション・ドライブ株式会社
管理本部 ITグループ

グループ長 吉武 成人様(写真上)

株式会社STNet
情報システム本部 ビジネスソリューション第2部

光家 康平様

WebFOCUS EVO

会社として見るべき指標はWebFOCUS EVOで見る生産性と付加価値を創出する情報活用基盤へ

情報活用を支えるIT部門として、リプレースを振り返っていかがでしょうか？

以前はシステムが不安定だったので、維持するために相当なパワーと工数を割かざるを得ない状況でした。WebFOCUS EVOは7ヵ月での導入でしたが、開発段階から現在までトラブルなく安定して稼働しています。だからこそ、今後より良いシステムとするためにどうしていくかを考えられるようになりました。

今後の展開についてお聞かせください。

今回のリプレースでは、スケジュールの関係で、旧レポートのレイアウトや出力内容はそのまま引き継いだため、ユーザの利用現場では、WebFOCUS EVOの出力結果をさらに加工して必要な資料を作成するといった低付加価値業務がまだまだ残っています。WebFOCUSを使用してできる部分はすべてWebFOCUSに任せることで、全体の業務効率や付加価値はさらに上がるはずで。また、これからは各部門独自の編集を加えたレポートをバラバラに管理するのではなく、WebFOCUS EVOに集約されたデータしか見ない、これを基にしか話をしないというマインドに変えていくことも目指しています。

まさにWebFOCUS EVOが全社の情報活用基盤となるわけですね。

この項目は何の判断材料に必要なのか、この数字は何のために出しているのか、という議論をさらに進めて、WebFOCUS EVOのレポートをただ見るだけのものではなく、今後のアクションにつなげていくためのものにしていきたいと考えています。WebFOCUS EVOから、目的の定まったレポートをいつでもどこでも出力できるようにすることで、エンドユーザが高付加価値業務に集中できる環境をを展望しています。

今回のリプレースでは、アシストのパートナーであるSTNet様のレポート開発支援を採用されました。最後に、STNet様とアシストへのご評価をお聞かせください。

STNet様には、WebFOCUS EVO側の開発を全面的にお任せし、プロジェクト全体を通じて強力なバックアップを得られました。SAP ERPとWebFOCUS EVOの両製品に精通しているので、製品特性を活かしたレポートの開発や、汎用モジュールの制約事項が見つかった際にはうまく回避してもらい安定稼働を実現しています。

現在はSTNet様の本社（香川県高松市）にある運用部門に、月20時間のリモート運用保守サポートを依頼しています。運用保守はこの工数で充分ですし、機能改修の相談もしています。

製品を使い続ける中では、仕様に関わる機能面のリクエストも出てくるので、アシストさんにはメーカーへの働きかけやサポート面での支援を引き続きお願いしたいです。WebFOCUS EVOの成長に今後も期待しています。

製品情報はウェブへ

<https://www.ashisuto.co.jp/webfocus/>

アシスト WebFOCUS  で検索！

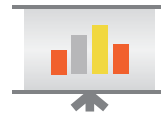
ユーザ様の事例をウェブサイトでも多数ご紹介！



WebFOCUS は、国内で 1,230 社を超えるお客様にご導入いただいています。ウェブサイトでは、多くのユーザ企業様の事例をご紹介しています。ぜひご覧ください。

アシスト WebFOCUS 事例 

無料体験セミナー好評開催中！



WebFOCUS の製品概要をデモンストレーションを交えてご紹介。
ハンズオン形式の体験セッションで WebFOCUS の操作性をご体感ください。
全国の開催日程はウェブをチェック！

アシスト WebFOCUS 体験 

お問い合わせは 株式会社アシスト

URL : <https://www.ashisuto.co.jp/webfocus/> E-Mail : ibi@ashisuto.co.jp

東 京 〒102-8109 東京都千代田区九段北4-2-1 市ヶ谷東急ビル TEL:03-5276-3653
札 幌 〒060-0003 札幌市中央区北3条西4-1-1 日本生命札幌ビル13F TEL:011-281-1161
仙 台 〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-20 花京院スクエア 19F TEL:050-3816-0970
名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-11 名古屋インターシティ 4F TEL:052-232-8211
金 沢 〒920-0853 金沢市本町2-15-1 ポルテ金沢 8F TEL:050-3816-0972

大 阪 〒530-0011 大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 13F TEL:06-6373-7113
島 根 〒730-0011 広島市中区基町12-3 COI広島紙屋町ビル 3F TEL:050-3816-0974
福 岡 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-6-1 九勲筑紫通ビル 9F TEL:092-481-7156
沖 縄 〒900-0014 那覇市松尾1-10-24 ホークシティ那覇ビル4F TEL:050-3816-0976